



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社

コード番号 9880 URL <http://www.innotech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 棚橋 祥紀 TEL 045-474-9000

四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	7,496	19.9	203	△36.8	264	△24.8	166	△35.9
27年3月期第1四半期	6,252	36.6	322	425.4	352	163.5	260	ー

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 80百万円 (△63.5%) 27年3月期第1四半期 220百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	9.49	9.24
27年3月期第1四半期	14.81	14.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	30,801	23,712	75.4
27年3月期	29,996	23,752	77.5

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 23,223百万円 27年3月期 23,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	ー	7.00	ー	7.00	14.00
28年3月期	ー	7.00	ー	7.00	14.00
28年3月期(予想)	ー	7.00	ー	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	13.3	800	10.7	900	△4.1	550	△0.6	31.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	18,218,901株	27年3月期	18,218,901株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	653,459株	27年3月期	653,459株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	17,565,442株	27年3月期1Q	17,565,442株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀の経済政策等を背景とした円安・株高傾向が続き、企業業績や雇用環境の改善、個人消費の持ち直しがみられるなど全体としては緩やかな回復が続いております。一方、海外においては、米国では内需拡大が続いているものの、中国をはじめとする新興国経済の減速や欧州の債務問題等、先行きについて不透明な状況も懸念されます。

当社グループが参画いたします先端エレクトロニクス業界におきましては、薄型テレビやBDレコーダ、カーナビ等の民生機器関連は一部に回復傾向がみられるものの、全体としては厳しい状況が続きました。スマートフォンやタブレット端末等の通信機器関連は概ね堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおける当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高74億96百万円(前年同期比19.9%増)、営業利益2億3百万円(同36.8%減)、経常利益2億64百万円(同24.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億66百万円(同35.9%減)となりました。

報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、前第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更したため、前年同四半期比較にあたっては、前第1四半期連結累計期間分を変更後のセグメント区分に組み替えて行っております。

詳細は、「3. 四半期連結財務諸表 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

〔設計開発ソリューション事業〕

設計開発ソリューション事業は、高付加価値製商品及びサービスの提供、新規開拓を行うなど積極的な営業活動に努めてまいりました。主力商品の半導体設計用(EDA)ソフトウェアは、スポット案件が発生した前期実績には及ばなかったものの、長期契約の更新や既存顧客の需要増により概ね堅調に推移いたしました。自社製組込み製品は、防衛、インフラ向けの受注増等により好調に推移いたしました。また、三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスは、既存顧客を中心とした売上が順調に推移いたしました。ガイオ・テクノロジー株式会社の組込みソフト検証ツール及びエンジニアリングサービスは、自動車メーカーを中心とした底堅い需要に支えられ引き続き好調に推移いたしました。一方、アイティアアクセス株式会社は、受託開発は振るわなかったものの、組込みソフトウェアのライセンス販売が売上に貢献いたしました。

その結果、当事業の売上高は40億85百万円(前年同期比4.1%増)、セグメント利益は2億71百万円(同27.3%増)となりました。

〔プロダクトソリューション事業〕

プロダクトソリューション事業は、半導体メモリー市場やデジタル家電、OA・FA市場の既存顧客を中心に当社のエンジニアリング力を活かし、高付加価値製商品及びサービスの提供、新規アプリケーションの開拓に注力してまいりました。自社製テストシステムは、海外向け出荷が一服しているものの、国内向けは好調に推移いたしました。ハードディスク部門・デバイス部門においては、OA市場における受注回復やファンドリービジネスの拡大等により売上は増加いたしました。また、STAr Technologies, Inc.は信頼性試験装置が売上に寄与いたしました。

その結果、当事業の売上高は34億11百万円(同46.5%増)、セグメント利益は41百万円(同81.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、308億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億4百万円増加しております。これは主に、受取手形及び売掛金が減少したものの商品及び製品が増加したことなどによるものであります。

一方、負債は70億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億45百万円増加しております。これは主に、支払手形及び買掛金が増加したことなどによるものであります。

純資産は237億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円減少しております。これは主に、為替換算調整勘定が減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は75.4%となり、前連結会計年度末に比べ2.1ポイント低下しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月12日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この変更による、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,553,473	3,646,364
受取手形及び売掛金	7,718,270	7,487,958
商品及び製品	2,311,566	3,071,393
その他	2,554,730	2,661,879
貸倒引当金	△13,548	△17,143
流動資産合計	16,124,493	16,850,452
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,931,014	7,935,979
減価償却累計額	△4,016,344	△4,052,535
建物及び構築物（純額）	3,914,669	3,883,443
土地	5,731,631	5,731,631
その他	1,658,082	1,681,453
減価償却累計額	△1,148,156	△1,180,238
その他（純額）	509,925	501,215
有形固定資産合計	10,156,225	10,116,290
無形固定資産		
のれん	1,387,135	1,341,058
その他	344,891	337,514
無形固定資産合計	1,732,026	1,678,572
投資その他の資産		
投資有価証券	745,276	900,734
その他	1,244,068	1,261,067
貸倒引当金	△5,724	△5,751
投資その他の資産合計	1,983,620	2,156,050
固定資産合計	13,871,873	13,950,913
資産合計	29,996,366	30,801,365

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,080,302	2,588,567
未払法人税等	106,914	185,800
賞与引当金	128,651	152,751
役員賞与引当金	—	2,726
その他	3,349,921	3,581,230
流動負債合計	5,665,789	6,511,075
固定負債		
役員退職慰労引当金	89,114	72,918
退職給付に係る負債	157,559	159,767
その他	331,122	345,270
固定負債合計	577,797	577,956
負債合計	6,243,586	7,089,032
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	7,323,460	7,324,094
利益剰余金	5,324,689	5,368,355
自己株式	△258,521	△258,521
株主資本合計	22,906,787	22,951,087
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	119,006	143,290
繰延ヘッジ損益	△14,497	△10,283
為替換算調整勘定	164,385	60,510
退職給付に係る調整累計額	86,074	78,948
その他の包括利益累計額合計	354,968	272,466
新株予約権	231,714	231,714
非支配株主持分	259,309	257,064
純資産合計	23,752,780	23,712,333
負債純資産合計	29,996,366	30,801,365

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）
売上高	6,252,235	7,496,565
売上原価	4,643,421	5,625,340
売上総利益	1,608,813	1,871,225
販売費及び一般管理費	1,286,661	1,667,630
営業利益	322,152	203,594
営業外収益		
不動産賃貸料	110,906	109,574
その他	17,553	62,439
営業外収益合計	128,459	172,014
営業外費用		
不動産賃貸費用	83,303	86,637
その他	15,279	24,407
営業外費用合計	98,583	111,044
経常利益	352,028	264,564
特別利益		
新株予約権戻入益	241	—
投資有価証券売却益	93	—
特別利益合計	334	—
特別損失		
投資有価証券売却損	5,416	—
特別損失合計	5,416	—
税金等調整前四半期純利益	346,946	264,564
法人税等	88,045	106,991
四半期純利益	258,901	157,573
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△1,244	△9,051
親会社株主に帰属する四半期純利益	260,145	166,624

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	258,901	157,573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,607	24,284
繰延ヘッジ損益	3,601	4,214
為替換算調整勘定	△46,855	△98,573
退職給付に係る調整額	△5,245	△7,126
その他の包括利益合計	△38,892	△77,201
四半期包括利益	220,008	80,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	221,253	84,122
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,244	△3,751

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	設計開発 ソリューション 事業	プロダクト ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,924,564	2,327,670	6,252,235	—	6,252,235
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,537	315	4,852	△4,852	—
計	3,929,102	2,327,985	6,257,087	△4,852	6,252,235
セグメント利益	213,458	224,533	437,991	△115,839	322,152

(注) 1. セグメント利益の調整額△115,839千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	設計開発 ソリューション 事業	プロダクト ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,085,419	3,411,146	7,496,565	—	7,496,565
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,839	244	7,083	△7,083	—
計	4,092,258	3,411,390	7,503,649	△7,083	7,496,565
セグメント利益	271,773	41,417	313,190	△109,595	203,594

(注) 1. セグメント利益の調整額△109,595千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△108,234千円及び棚卸資産の調整額△1,361千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間より、近年の事業環境の変化に伴うビジネスモデルの転換を図るため、組織変更を実施したことに伴い、報告セグメントを従来の「半導体設計事業」及び「電子部品事業」から「設計開発ソリューション事業」及び「プロダクトソリューション事業」に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメント区分に基づき作成しており、前連結会計年度の第1四半期連結累計期間に開示した報告セグメントと相違しております。